

達成状況：A(3.2以上) B(3.2~2.4) C(2.4未満)

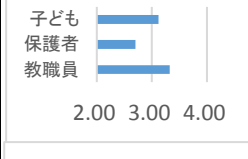
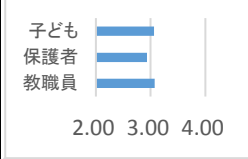
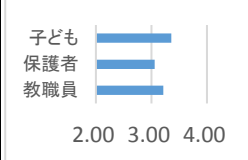
	NO.	種別	アンケート項目	4	3	2	1	?	小計	平均
豊かな心と健やかな体の育成	1	子ども	① やってよいことと悪いことを考えて行動している。	110	115	29	7	10	271	3.14
		保護者	① 子どもたちは善悪を正しく判断し行動している。	40	173	25	8	11	257	2.87
		教職員	① 道徳の時間を要として教育活動全体を通じ、道徳性・道徳的実践力の育成に努めている。	7	15	6			28	3.04
	2	子ども	② 道徳の時間には話し合いをしたり意見を書いたりして自分の考えを深めている。	101	100	37	11	21	270	2.92
		保護者	② 道徳の時間などで子どもの道徳性を高める学習を行っている。	39	144	16	2	56	257	2.42
		教職員	② 「わたしたちの道徳」の活用や豊かな体験活動、道徳の授業研究等により、道徳の時間の充実を図っている。	5	20	2	1		28	3.04
	3	子ども	③ 学校のきまりを守り、あいさつもきちんとしている。	127	99	29	8	7	270	3.23
		保護者	③ 子どもたちは学校のきまりを守り、あいさつもきちんとしている。	69	148	31	6	2	256	3.08
		教職員	③ 集団生活のルール、マナーの徹底を図り、学校事故の防止、規範意識の高揚に努めている。	9	13	6			28	3.11
4	子ども	④ 困ったことがあれば先生方に相談している。	96	71	47	47	9	270	2.73	
	保護者	④ 子どもたちは困ったことがあれば先生方に相談している。	39	110	46	21	40	256	2.34	
	教職員	④ 児童理解のための生徒指導体制及び教育相談体制の充実を図っている。	6	19	3			28	3.11	
5	子ども	⑤ いじめなどしないで、みんなで仲良くしようと努力している。	151	90	10	4	15	270	3.33	
	保護者	⑤ 学校ではいじめ防止の取組に努めている。	40	115	36	13	54	258	2.29	
	教職員	⑤ 未然防止、早期発見、早期対応を心がけ、いじめ防止に向けた全校的な取組を行っている。	9	15	4			28	3.18	
体力の向上	6	子ども	⑥ マラソンやなわとび等、進んで体力づくりをしている。	145	66	38	16	5	270	3.22
		保護者	⑥ マラソンやなわとび等、進んで体力づくりをしている。	143	91	15	4	3	256	3.43
	教職員	⑥A 体力向上に向けた授業改善に取り組んでいる。	9	16	3			28	3.21	
		⑥B 休み時間の体力づくりや自ら体力づくりに取り組む環境を整えている。	10	18				28	3.36	



	達成状況	改善の方策	評価状況	改善策	ご意見
1	B	○全学級で授業参観公開 ○全学級で研究授業 ○全学級で示範授業	B		○子どもと親の意識の差が見られる。 ○雪山に登らないよう地域でも指導した。
	B				
	B				
2	B	○教科化に向けた理論研修と教育計画の整備	B		
	B				
	B				
3	A	○生活のきまりの徹底 ○いじめ・不登校の早期発見・早期対応 ○問題行動に対する組織的な対応 ○教育相談記録の有効活用 ○あいさつ運動を始めとした児童会活動の取組の推進	A		○1, 2年生も後半あいさつがよくなり、全体的に去年より大きな声で返事が返ってくる。
	B				
	B				
4	B	○問題行動に対する組織的な対応 ○教育相談記録の有効活用 ○あいさつ運動を始めとした児童会活動の取組の推進	B		○悩みを相談できずに「1」をつけた47人の児童の声にぜひ耳を傾けてもらいたい。
	C				
	B				
5	A	○全学的な「マラソン」「縄跳び」の取組 ○日常的に運動できる場や用具の設定	B		
	C				
	B				
6	A	○全学的な「マラソン」「縄跳び」の取組 ○日常的に運動できる場や用具の設定	A		○少年団も単独チームができず、運動の機会の確保が大変な中、学校で全校的なマラソンやなわとびに取り組むのは重要と思う。
	A				
	A				
	A				

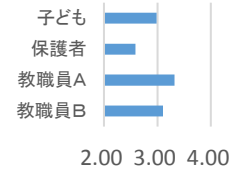
基礎基本の定着と社会で生きる実践的な力の育成

基礎的・基本的な知識・技能の定着	7	子ども	⑦朝学習や朝読書にしっかり取り組んでいる。	136	94	22	10	7	269	3.27
		保護者	⑦朝学習や朝読書にしっかり取り組んでいる。	131	91	13	6	16	257	3.23
		教職員	⑦朝活動の充実(漢字・計算力の向上)や長期休業中のぐんぐんタイムの充実を図っている。	8	14	6			28	3.07
	8	子ども	⑧算数のTT学習やコース別学習はわかりやすい。	129	62	31	25	22	269	2.93
		保護者	⑧算数のTT学習やコース別学習など工夫した授業を行っている。(3年生以上)	91	79	8	1	9	188	3.29
		教職員	⑧算数科におけるTT指導と少人数指導の充実、コース別学習の工夫を行い、学習内容の定着を図っている。	6	15	4	2	1	28	2.82
	9	子ども	⑨学習のきまりを守り、授業のノートもきちんと書いている。	154	80	22	7	7	270	3.36
		保護者	⑨子どもたちは学習のきまりを守り、授業のノートもきちんと書いている。	83	142	13	5	15	258	3.06
		教職員	⑨北光小の学習ルールの徹底、ノート指導・板書指導を大切に授業改善を行っている。	12	12	2	2		28	3.21
10	子ども	⑩学力検査やテストの結果を見直して、学力を高めようとしている。	101	113	35	13	8	270	3.06	
	保護者	⑩学力検査の分析結果やそれに基づく学力向上の取組を公開している。	90	113	23	3	26	255	2.93	
	教職員	⑩全国学力・学習状況等調査や市統一学力検査の結果、分析、考察の共通理解を図るとともに、家庭や地域に情報を発信している。	7	16	5			28	3.07	
校内研修の改善・充実	11	子ども	⑪先生はわかりやすく勉強を教えてくれている。	178	53	10	15	8	264	3.43
		保護者	⑪先生方はわかりやすく勉強を教えてくれている。	83	125	18	3	27	256	2.91
		教職員	⑪子どもたちにとって「よくわかる授業」を展開している。	1	21	5		1	28	2.75
12	子ども	⑫文を書いたり、書いた文をお互いに見せ合ってよくしようとしている。	114	106	26	14	9	269	3.12	
	保護者	⑫子どもたちは文を書いたり推敲したりする力がついてきている。	53	124	50	8	21	256	2.70	
	教職員	⑫校内研修(国語科における書く活動の充実を通じて)を中心とした授業改善や、他教科や日常の書く活動への活用が図られている。	10	17	1			28	3.32	
家庭学習の定着	13	子ども	⑬宿題や家庭学習に取り組んでいる。(学年×10分+10分)	94	89	47	34	7	271	2.85
		保護者	⑬子どもたちは宿題や家庭学習に取り組んでいる。(学年×10分+10分)	64	126	44	17	5	256	2.89
		教職員	⑬「学年×10分+10分」の家庭学習の定着と家庭学習の内容の充実を図っている。	2	19	6		1	28	2.75



7	A	B	○算数科TT学習から少人数指導への比重拡大 ○中学校エリア内小中連携による「学習規律」の徹底 ○苫小牧学力UPハンドブックに基づいた「ノート指導」「板書指導」の徹底	B	
	A				
	B				
8	B	B	○苦小牧学力UPハンドブックに基づいた「ノート指導」「板書指導」の徹底 ○校内研修体制に基づいた「全員授業公開」の実施	B	○実物投影機が全学級にあるのは効果的である。
	A				
	B				
9	A	A	○「当たり前」の学習規律を徹底してもらいたい。	B	
	B				
	A				
10	B	B	○子どもたちの「書く能力」がついているのはデータでもよくわかった。今後もよろしく願いたい。	B	
	B				
	B				
11	A	B	○4年間の「書く能力」育成のまとめと継続 ○新たな研究主題による研修の推進	A	○パソコン学習は今後も大切。 ○参観日で先生方がていねいに教えているのがよくわかった。
	B				
	B				
12	B	B	○次期学習指導要領の研修	B	
	B				
	A				
13	B	B	○家庭学習時間「学年×10+10分」の徹底	B	○習い事と塾、少年団活動と家庭学習時間のバランスに配慮すべきである。
	B				
	B				

基礎 基本 的定着 と社会 で活 き る実 践的 な力 の育 成	読 書 活 動 の 奨 励	子ども	⑭学校や家でよく読書をしている。	126	59	49	27	9	270	2.99		
		保護者	⑭子どもたちは学校や家でよく読書をしている。	47	102	74	21	12	256	2.59		
		教職員	⑭A 登校後や給食時間等の読書の推進を行っている。	13	11	4			28	3.32		
		教職員	⑭B 家読の奨励や図書委員会と連携した読書活動の取組等、読書の習慣化を図っている。	10	13	4		1	28	3.11		
家庭・ 地域 との 連携 ・協 働・ 信頼 され る学 校づ くり	家庭 と連 携し た基 本的 生活 習慣 の定 着	子ども	⑮「早ね、早おき、朝ごはん」はしっかりとできている。	127	78	35	24	6	270	3.10		
		保護者	⑮「早ね、早おき、朝ごはん」はしっかりとできている。	96	108	36	13	4	257	3.09		
		教職員	⑮生活実態調査を実施し、その結果を家庭に知らせるなど、基本的な生活習慣の重要性を啓発している。	15	12	1			28	3.50		
	開 か れ た 学 校 づ くり の 推 進	家庭 と連 携し た基 本的 生活 習慣 の定 着	子ども	⑯「がんばり週間」などで毎日の生活をよくしようとしている。	105	93	41	18	12	269	2.97	
			保護者	⑯「がんばり週間」などで毎日の生活を改善しようとしている。	77	116	39	13	11	256	2.92	
			教職員	⑯「がんばり週間」の取組等、家庭との連携による基本的な生活習慣の定着に努めている。	10	17	1			28	3.32	
	開 か れ た 学 校 づ くり の 推 進	家庭 と連 携し た基 本的 生活 習慣 の定 着	子ども	⑰PTAや地域の方々がしっかりと見守ってくれている。	169	50	20	8	23	270	3.24	
			保護者	⑰PTAや地域の方々が子どもたちをしっかりと見守ってくれている。	90	107	19	10	25	251	2.90	
			教職員	⑰保護者や地域との連携による、登下校時を中心とした安全体制の整備が行われている。	10	17	1			28	3.32	
		開 か れ た 学 校 づ くり の 推 進	家庭 と連 携し た基 本的 生活 習慣 の定 着	子ども	⑱地域の方やいろいろな施設での学習、外部講師さんとの学習は楽しい。	165	58	24	4	19	270	3.28
				保護者	⑱地域の方やいろいろな施設での学習、外部講師さんとの学習を取り入れて	67	130	18	4	38	257	2.72
				教職員	⑱保護者や地域との連携による、登下校時を中心とした安全体制の整備が行われている。	11	15	1	1		28	3.29
開 か れ た 学 校 づ くり の 推 進		家庭 と連 携し た基 本的 生活 習慣 の定 着	子ども	⑲学校からのおたよりはしっかりとおうちの人の見せている。	188	56	12	8	6	270	3.53	
			保護者	⑲学校だよりやホームページなどで、家庭や地域へ積極的に情報を発信している。	75	140	19	6	16	256	2.98	
			教職員	⑲学校だより、ほけんだより、生徒指導便り、学年だよりの配付、学校ホームページによる学校教育の啓発を行っている。	15	12	1			28	3.50	
開 か れ た 学 校 づ くり の 推 進	家庭 と連 携し た基 本的 生活 習慣 の定 着	保護者	⑳学校は児童個々の実教に応じた支援に努めている。	44	124	33	10	47	258	2.42		
		教職員	㉑A コーディネーターを中心にSSWやエリア会議と連携し、子供支援委員会等を通じて児童理解を図り、不登校児童の対応も的確に行っている。	10	12	4		1	27	3.11		
		教職員	㉑B 配慮を要する児童の共通理解に基づき、TT指導や通級支援、教育計画の改善・充実を図っている。	11	15	2			28	3.32		



14	B	B	○校内読書環境の整備・充実 ○校外における読書習慣の推進	A	○町内会館に児童書100冊を設置したが、子どもは熱心に読んでいた。 ○図書司書の取組も有意義と考える。
	B				
	A				
	B				
15	B	A	○「がんばり週間」「生活実態調査」の継続推進 ○苫小牧市共通の「早寝・早起き・朝ごはん」第1,3日曜日はノーゲームデー」の推進	B	
	B				
	A				
16	B	B	○学校だより、学校ホームページ、一斉メール配信の活用による学校情報の発信 ○外部人材や外部施設を活用した教育活動の推進 ○家庭・地域への学力・体力調査結果や学校評価結果の公開課題解決への協力要請	B	○子ども、地域、保護者の相互理解を今後も大切にしていきたい。
	B				
	A				
17	A	B	○学校だより、学校ホームページ、一斉メール配信の活用による学校情報の発信 ○外部人材や外部施設を活用した教育活動の推進 ○家庭・地域への学力・体力調査結果や学校評価結果の公開課題解決への協力要請	B	
	B				
	A				
18	A	B	○学校だより、学校ホームページ、一斉メール配信の活用による学校情報の発信 ○外部人材や外部施設を活用した教育活動の推進 ○家庭・地域への学力・体力調査結果や学校評価結果の公開課題解決への協力要請	B	
	B				
	A				
19	A	A	○学校だより、学校ホームページ、一斉メール配信の活用による学校情報の発信 ○外部人材や外部施設を活用した教育活動の推進 ○家庭・地域への学力・体力調査結果や学校評価結果の公開課題解決への協力要請	B	
	B				
	A				
20	B	B	○学校だより、学校ホームページ、一斉メール配信の活用による学校情報の発信 ○外部人材や外部施設を活用した教育活動の推進 ○家庭・地域への学力・体力調査結果や学校評価結果の公開課題解決への協力要請	B	
	B				
	A				

